

「志位さん訴えに勇氣」 ■「勝ち抜こう」

衆院南関東ブロック（神奈川、千葉、山梨の3県）内の日本共産党後援会員らが、同ブロック比例候補の志位和夫委員長と畑野君枝氏との懇親を深める「連帯と交流のつどい」が14、15の2日間、千葉県鴨川市で開かれました。

志位氏が1時間半にわたってわかりやすく講演し、参加者からの質問に丁寧に答えました。

約860人の参加者からは「初めて志位さんの話を直接聞いた」「他県も交えた企画でよかった」などの感想が寄せられました。

南関東ブロック 連帯と交流の集い



畑野氏と、既に発表されている小選挙区候補者15人が決意表明。会場から「そうだ」「頑張れ」などの激励の声が飛びました。

志位委員長の講演を聞く「連帯と交流のつどい」参加者14日、千葉県鴨川市

消費増税に対する中小業者の不安の声を紹介した神奈川9区のほりぐち望候補は「これ以上国民を苦しめる政治は許されない」と強調。野田佳彦首相と同じ千葉4区のさいとう和子候補が「野田首相に真っ向から審判を下す責任がある」と訴えると、盛大な拍手がわき起こりました。

千葉県後援会の前田堅一郎会長、山梨県後援会の雨宮富美雄常任世話人、神奈川県後援会の増本一彦会長がいさつ。「後援会員の強い絆をつくろう」「来るべき選挙を勝ち抜こう」などと訴えました。

横浜市から参加した山崎友靖さん(34)は「これだけの人が集まったのはすごい。この勢いで頑張れば、志位さん、畑野さんを押し上げられると確信しました」と話しました。

山梨県都留市の小林和子さん(65)は「志位さん、小選挙区候補者の力強い決意表明に勇氣をもらいました。私も党の政策に共感を持ってもらえるように頑張ります」と話しました。